



# 学校だより

令和2年度2学期終業式号

東京都立町田の丘学園校長

<http://www.machida-sh.metro.tokyo.jp/>

令和2年12月25日発行

## 「自己選択・自己決定」

校長 緒方 直彦

令和2年(2020年)も残すところあと数日となりました。本学期も保護者の皆様方には、本校の教育に御理解・御協力をいただき深く御礼申し上げます。

本校では、肢体不自由教育部門高等部及び知的障害教育部門高等部においてキャリア教育の一環として「主権者教育」に取り組んでいます。本年度は、自分たちが住んでいる町田市を良くするための具体的な取組について話し合い、授業報告書としてまとめました。

そして、町田市議会事務局の方々に来校していただき、生徒会の生徒が、まとめた意見を説明し、報告書を手渡しました。生徒たちは、自分たちの意見や考えを伝えることができたこと、町田市議会事務局の方に感謝されたことで、達成感を感じている様子が見られました。これは高等部における取組の一つですが、私は、このような学習等を通じて、児童・生徒に自ら考え、選択し、決定する力(自己選択・自己決定できる力)を付けてもらいたいと考えています。そのため学校では、小学部から様々な場面で選択する機会を設定し、選択したことを尊重することが重要だと考えます。何の遊具で遊ぶか、絵の具の色は何色にするか等の身近な選択経験の積み重ねが、将来、どのような進路先や生活をするのかという重要な選択場面に生かされるのではないのでしょうか。高等部3年生は、卒業まで残り3カ月余りとなりました。学校として一人一人の生徒の進路選択を支援していきたいと思っています。



報告書を渡す様子



意見を説明する様子



町田市議会事務局の方との記念撮影

さて、令和3年度は、中学部において新学習指導要領を踏まえた教育活動が完全実施されます。本校では、A・B部門中学部の新たな教育課程に理科・社会の教科を導入します。

また、B部門小学部には生活科を第5・6学年に設定し、理科・社会につながる内容を学習します。新たな学習指導要領では、「学びに向かう力」等が評価の面からも重視されています。各学習活動において、様々な選択場面を設定し、児童・生徒が自己決定する力を高めることにより、学習等に主体的に参加できるよう指導の充実を図ってまいります。

最後になりますが、令和3年(2021年)が、児童・生徒、保護者、教職員にとって素晴らしい年となることを祈念し年末のあいさつとさせていただきます。

今後とも、本校の教育活動への御理解・御協力よろしくお願いたします。

### ～B中の学習の様子～

新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行われていた町田市内の特別支援学級と行われる連合マラソン大会が中止となってしまいました。そこでB中では代替行事として学年に分かれて持久走記録会を行いました。距離は500m、1000m、1500mの3部門としました。

最初の頃の練習では、ペースをつかむことが難しく途中で歩いたり、最後まで走ることを諦めたりしてしまう生徒もいましたが、練習を重ねるうちに自分に合ったペースを見つけることができた生徒も多くなり、ゴールまで自分自身のペースで走ることができるようになってきました。

各学年とも本番の日は天候に恵まれ、気持ちよく走ることができました。また、保護者の皆様の応援により、自己ベストを更新する生徒が多くみられました。この経験を日々の学校生活に生かし、積み重ねを大切にしていきたいと思えます。保護者の皆様の多くの御声援ありがとうございました。



### ～B高の学習の様子～

12月2日(水) 13:15～13:55 体育館にて、B部門高等部1年生を対象に「狂言教室」が実施されました。講師として人間国宝の善竹十郎先生(狂言師)、善竹大二郎先生(狂言師)が来校されました。

狂言は、今から600年以上前、室町時代にできた演劇です。大二郎先生からは「日本で一番古いお笑い」だと教えていただきました。

前半は狂言の鑑賞の仕方やコツを紹介していただき、「柿山伏」の舞台上演を鑑賞しました。後半は動物鳴き真似あてクイズや狂言の姿勢、セリフについて体験を通して学びました。

質疑応答では「1日何時間練習しているの?」「もっと色んな動物の鳴き真似を教えてください!」といった声が上がりました。柿山伏に登場しなかった動物の鳴き真似もたくさん教えていただきました。背景で使用した老松は学年全員で授業にて制作をし善竹大二郎先生からも「細部にわたって丁寧に作られている」と絶賛されました。狂言についてわかりやすく楽しく学ぶことができ、貴重な体験ができました。





## ～まちおか Goto スタイル（本校舎スタイルについて）～

本校舎では12月21日から24日までの4日間、まちだ祭に代わる《まちおか Goto スタイル週間》の取り組みを行いました。

例年のまちだ祭のように、リアルタイムでの舞台発表等はできませんでしたが、各学部・各学年、部活動の動画による発表や作品展示、B高作業班の販売等があり、日常と異なる雰囲気はどこかお祭り気分が漂っていました。校内のあちこちを発表ポスターや販売ポスターが彩っていたのも、例年のまちだ祭を感じさせる賑やかなものとなりました。

動画発表は、児童・生徒が意見を出し合ったり編集をしたりしたものもあり、各学部や学年の特色がよく出ていました。「まちおかチャンネル」で配信された予告編は御覧になっていただけたでしょうか。1分程度の予告編ですが、本編を観たくなるようなものばかりですので、3学期の保護者会等で是非御覧いただければと思います。

まちおか Goto スタイル週間で、玄関ホールに大きな「まちおか Goto スタイル」という力強いポスターが展示してありました。例年のようにリアルタイムでの舞台発表ができなかったことや、保護者の皆様、地域の皆様の御来校を御遠慮いただきましたが、形は違えど、児童・生徒一人一人が力を発揮する“新しいスタイル”を感じ取れる取り組みになりました。



## ～A部門合同音楽 クリスマスコンサート～

12月22日（火）A部門合同音楽の授業として、クリスマスコンサート会を行いました。感染症対策を十分に行いつつ、今年度初めてA部門が一同に集まる機会となりました。

今年度入学した小学部1年生による「荒馬」披露、そして、卒業を迎える高等部3年生「歓喜の歌」による歌唱、「すてきなホリデイ」の楽器演奏と、小中高等部が集まる良さを感じる会となりました。また、教員によるクリスマスプレゼント「きよしこの夜」ハンドベル演奏や、「ジングルベル」フルート演奏、そして、高等部・梅崎先生による「紅蓮華」のピアノソロ演奏など、大いに盛り上がる会となりました。

